



かながわの木を使った家



かながわの木を使って 家をつくりませんか!!

かながわ森林・林材業活性化協議会では、森林の公益的機能を発揮させるため県産木材の普及・PR活動と安定供給体制の整備に取り組んでいます



箱根の森林



かながわ県産木材



かながわの木を使って 森林を守る

間伐材をはじめ、かながわの木を使うことが、間伐など森林の手入れを進め、森林を守り育てることにつながります。

神奈川県は県土面積の4割が森林です。これまでスギ、ヒノキなどの人工林は林業活動を通じて大切に守り育てられてきました。

近年、外国産木材の輸入の増加などから、林業活動が徐々に難しくなり、それに伴い間伐などの手入れの行き届かない森林が増えています。

間伐は、森林の管理のために重要ですが、間伐が行われないと林の中が暗くなり下草が生えなくなり土壌が流出してしまいます。

間伐が適度に行われると木の育ちも良く、水源のかん養、県土の保全、生物多様性の保全、レクリエーションの場など森林のさまざまな機能が十分発揮できる緑豊かな森林になります。



間伐の必要な人工林



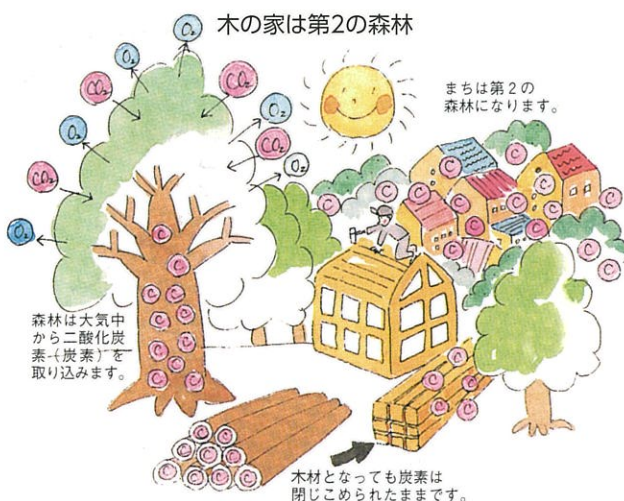
間伐後の人工林

地球温暖化防止に貢献 する木材利用

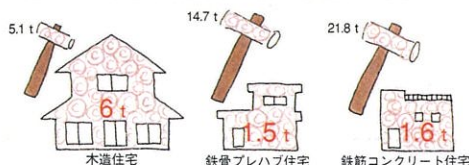
「木は環境にやさしい」…木の特性が地球環境へ与える負荷を小さくします。木を使うことが地球環境への負荷を小さくすることにつながります。さらに近くの木を使うことは輸送エネルギーの削減につながります。

森林や木材利用は、地球温暖化防止に貢献します。

- 森林は、二酸化炭素を固定する
- 木は植えて、育てて、再生産が可能
- 木材製品は製造・加工時の化石燃料の使用を抑制する
- 木の家は二酸化炭素を貯蔵する
- 木の家は解体や再利用がしやすい



一戸当たりの炭素貯蓄料と材料製造時の炭素放出量



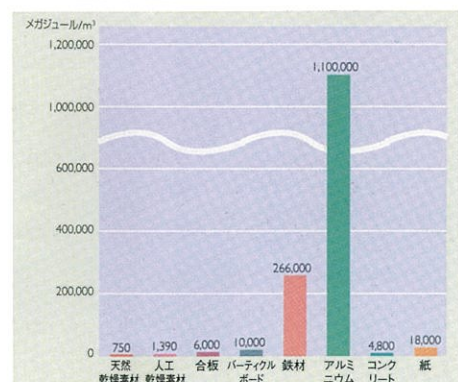
資料:岡崎ら,1998 他

森林、木材の活用による地球温暖化防止のモデル



※林野庁ホームページより

各種材料製造時の消費エネルギー



※(財)日本木材総合情報センターパンフレットより

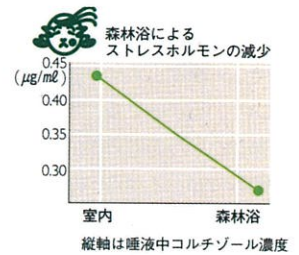
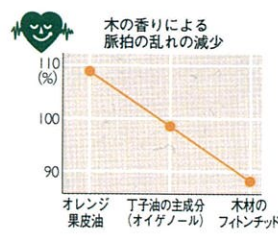
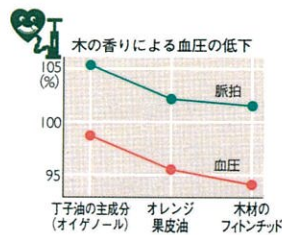
自然素材・木の家は 人にやさしい

「木はやっぱりいい」、木には人の健康面や環境に影響する多くの特色があり様々な方法でその効果が確かめられています。木のこれらの特徴を活かした家づくりをしてみませんか？

「木の家」の 健康面からみた魅力

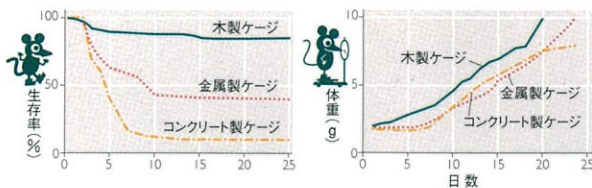
- 温もりがある
- 湿度を調節する
- ダニを抑制する
- 断熱性が高い
- 適度に吸音する

血圧、脈拍、ストレスホルモンへの木の香りの効果



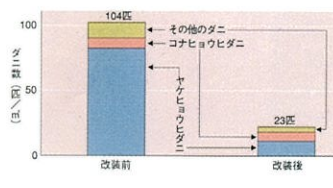
資料:宮崎良文,1996

素材の異なるゲージでのマウスの生存率と成長



資料:伊藤 他 静岡大学農学部 報告,1987

フローリング改装前と改装後のダニ数の変化



資料:高岡・高野・宮崎,1985

内装の違いによる住宅内の湿度変化



資料:則本京 他 木材研究資料No.11,1977

※林野庁ホームページより

かながわでは、こんな 木を育てています

かながわの森林から、スギ、ヒノキの間伐材など家づくりに最適な木材が生産されています。かながわで家をつくるには、地元・かながわの気候・風土で育った木が適しています。

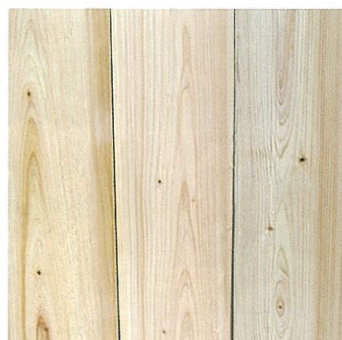
スギ



日本の代表的な樹種であり県内で最も多く造林されています。赤みのある材色が特徴的で木目がはっきりしています。材質が軟らかく加工が容易で肌触りや見た目がやさしく昔から日本人の生活に多く使われています。

柱、天井板や壁などの内装材のほか家具や建具、道具など幅広く用いられており、供給量も豊富です。

ヒノキ



スギと並ぶ日本の代表的な樹種で県内ではスギについで多く造林されています。スギに比べ材色は白く仕上げ面に美しい光沢があり特有の芳香があります。耐朽性が高く、水湿にも耐えるなど優れた特性があり土台、柱、内装材など多くの用途に使われます。

高級材として知られていますが通常の品質であれば供給量が豊富で入手も容易です。

かながわでは、こうして 木材を生産しています

産地の明らかな、かながわの木を安心してお使いいただくため、木材の産地や生産者の確かな県産木材が生産されています。



丸太の搬出

山で伐採された木材は必要な長さに伐って搬出します。



素材(丸太)

丸太は、県内唯一の市場で取引されます。(※)



製材工場

県内の製材工場では製材や乾燥が行われます。



製材品

柱や板など様々な製品に加工され住宅などに用いられます。



※神奈川県森林組合連合会 林業センター(秦野市)

つくり手の顔の見える家づくり

かながわ森林・林材業活性化協議会では、ユーザーの皆さんと木材の生産地や製材所、工務店などのつくり手との結びつきを大切にしたいネットワークに取り組んでいます。

かながわ県産木材 産地認証制度

公共事業や住宅建設において、かながわ県産木材等の利用の推進を一層普及するとともに県民ニーズにあった県産木材を安定的に供給するため、「かながわ県産木材の産地認証」及び「かながわ県産木材生産者」の認証を行う制度です。

かながわブランド県産木材 品質認証制度

品質の明らかな木材を供給するため、産地認証された県産木材のうち、一定の基準を満たした木材を「かながわブランド県産木材」(＝品質認証材)として認証を行うこと及び品質認証を行う「認証製材工場」を認定する制度です。

かながわ県産木材住宅 建設工務店認証制度

県産木材を使用して住宅建設を行う地域工務店等との連携を強化し、住宅における県産木材の需要拡大を図るため、県産木材を利用して住宅を建設する地域工務店を「かながわ県産木材住宅建設工務店」として認証する制度です。

かながわ県産木材 産地認証マーク

産地認証を受けた県産木材であることを証明するシンボルマークです。(商標登録済)



(産地認証木材)

かながわブランド県産 木材品質認証マーク

品質認証を受けた県産木材であることを証明するシンボルマークです。



(品質認証木材)



(かながわ県産木材を使用した住宅：藤沢市内)

「かながわ県産木材」とは

神奈川県内で生産された素材及び神奈川県内で生産された素材を原則として神奈川県内の工場などで加工した製品とする。

「かながわブランド県産木材 品質認証材」とは

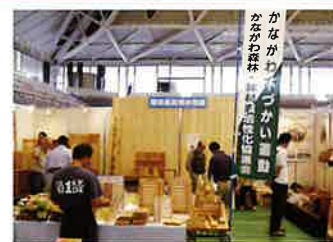
「かながわ県産木材」で含水率(乾燥)、寸法、製材面等の品質の基準をみたした、高品質製材品とする。

かながわ森林・林材業活性化協議会とは…

県内の森林組合や木材業協同組合など県産木材の生産から流通・消費に関わる関係団体が連携し県産木材産地認証などの活動に取り組んでいます。

〈構成団体〉森林組合連合会ほか県内の森林組合、木材業協同組合連合会など木材業協同組合、県建具協同組合など18団体

※かながわの木を使った家づくりに興味のある工務店を募集しています。



お問い合わせは、こちらへどうぞ…

- かながわ森林・林材業活性化協議会 (神奈川県森林組合連合会内)
〒259-1332 秦野市菖蒲317番地 電話:0463-73-8940
ホームページ <http://www.kenmoriren.jp/sinrinkasseika/>
- 神奈川県木材業協同組合連合会
〒231-0033 横浜市中区長者町9-149 電話:045-261-3731
ホームページ <http://kenmokuren.com/>
- かながわ木づくり運動については
神奈川県環境農政局緑政部 森林再生課 森林企画グループ
電話:045-210-1111 内線4332



かながわ木づくり運動

かながわ森林・林材業活性化協議会では、県産木材の需要を拡大するために、神奈川県と連携し「かながわ木づくり運動」を、推進しています。

※かながわの木を使った家づくりについては、お近くの認証工務店までお問い合わせください。

